

この4月26日のソ連の原子炉事故は史上最大、世界
はその余波に^あな^中ま^いを^かける。その即国柄ゆ^ゆ之^か、事故原
因に^つな^いこの公表情報は極^く限^りされて^いるが、^{それ}も、
「発電所の一室で事故がおこ^こした結果^で原子炉建物の
部分破壊が生じ……」(4月30日直後の発表)、「原子炉の
停止作業中に炉の異常奔流が生じ蒸気爆発、それに水素奔
走が……」(5月14日ゴルバチョフ演説)、「^{特殊実験を行なった}
ことが……」(5月21日ソ連原子力安全国際委員会)「タービンの検査を
して^{いた}ことが……」(6月5日連政府委員会)と^いう風^に。内
容が微妙に^ゆれ^きつ^つも^見え^る。今日までのと=3人
本として~~教訓を~~出^して^もは精神的~~教訓~~以上~~は~~
^はその^中に^ある^{もの}は^かに^映じ^出て^いる。

けいこ

材料のものは3/10に書いた。講演当日までの18日
と1ヶ月を、お話しし、パワーのふえとつづに人々討
論をやらせたいと他人でいる。

経理に

この4月26日のソ連の原子炉事故は史上
最大、世界はまだその余波の中にいる。その
御国柄のゆえか、事故原因についての公式情
報は極めて限られているが、それでも、「発
電所の一室で事故がおき、その結果として原
子炉建物の部分破壊が生じ-----」(4月30
日、事故直後のソ連政府の発表)、「原子炉の
停止作業中に炉の異常発熱が生じ蒸気爆発、
そして水素発生が-----」(5月14日、ゴ

ルバチョフ首相演説)、「特殊の実験を行な
っていたことが-----」(5月21日、シド
レンコ原子力安全国家委員会副議長)、「タ
ービンの検査をしていたことが-----」(6
月5日、ソ連政府事故調査委員会)という
風に、内容が微妙にゆれ動きつつも、その背
後にあるものをほのかに映し出している。そ
のようなわけで今日までのところ、日本と
しては精神的教訓以上のものは引き出せない
でいるけれども、講演当日までの情報とデー

21×10

日本原子力産業会議

2/3

夕を整理してお話しし、パネラーの方々とつ
っこんで討論をさせて頂きたいと望んでいる。

21 × 10

日本原子力産業会議

3/3